

第1回美原区政策会議の意見及び令和6年度美原区民意識調査の結果反映箇所

意見要旨・調査結果	反映ページ	反映箇所
美原区ビジョン2025の将来像は引継ぎ、時間をかけて区民に浸透させたほうが良い。	p1,3,11	ご意見のとおり、将来像は美原区ビジョン2025から引き継ぎます。
社会的に食料品の高騰等が問題となっているが、美原区では食や地産地消に関する取組を既に実施しており、とても重要である。	p9	「美原朝市」「美原区古代米プロジェクト」や大阪府立農芸高等学校の取組等について、地域の背景内「空が広く、山の見える田園風景と緑に包まれた農業地域」へ反映しました。
美原区民意識調査問18「あなたは美原区のどんなところに愛着や誇りを感じていますか。」では、「静かで心がやすらぐ」「高層マンションやビルが少ない」「自然環境・田畠・緑が豊かである」の回答が高い。	p9	地域の背景内「空が広く、山の見える田園風景と緑に包まれた農業地域」へ反映しました。
美原区民意識調査問12「あなたが普段の用事でよく利用される場所はどこですか。」では、特に「食料品・日用品の買い物」「電化製品の買い物」「公園・広場へ出かける」で「美原区内」との回答が高い。	p9	地域の背景内「行政・文化機能や防災拠点、大型商業施設等の集積」へ反映しました。
美原区民意識調査問17「あなたは美原区全体をみて今後重点的に推進すべきと考えるものはどれですか。」では、「バス等の公共交通機関の充実」の回答が最も高い。	p10	地域の背景内「身近な地域で暮らしやすい環境整備」へ反映しました。
美原区民意識調査問7「あなたは自治会やこども会、老人会、各種サークル等に加入して地域の方と一緒に活動に参加していますか。」の回答では、自治会やこども会、老人会、各種サークルに参加している割合が、平成30年度と比べて、減少している。	p10	地域の背景内「地域活動の情報発信と各種活動の連携、活発化」へ反映しました。
区内に住む外国人が増加しており、マイナリティと言うには多すぎる割合だと感じる。災害時のためにも、外国人とのつながりを強化する視点が必要である。	p10	外国人住民とのつながりの強化について、地域の背景内「持続可能な地域コミュニティの活性化」へ反映しました。

自治会等では、役員等担い手に負担が集中している。負担軽減のため多くの人に薄く広く関わってもらえば、地域のつながり強化や地域活動への参加につながる。	p13	自治会や自主活動団体による地域活動の実施や加入啓発について、基本方針1内「孤立させないコミュニティ力の強化」へ追記しました。
子育て世代へのサポートの充実や、保護者たちもやってみたいことができるようになる工夫を取り入れてほしい。 美原区民意識調査問16「あなたが日頃、困った経験があることや、最近気になることはありますか。」の回答では、30～40歳代の男女ともに、「子どもの安全・安心」の割合が高く、問17の今後重点的に推進すべきと考えることでは、30～40歳代の男性と、20～30歳代の女性の若者が「子育てを支援する政策の充実」と答えた割合が高く、将来の美原区を担う若者の関心が高い。	p13,17	母子保健・児童福祉の両機能をもつ「こども家庭センター」や地域全体での子育て支援について、基本方針1内「心身の健康維持への支援」へ追記しました。 親子が集う場の創出や保護者同士の交流等、保護者への支援について、基本方針3内「子育てしやすい環境の充実」へ追記しました。
美原区民意識調査問16において、日頃困った経験や、最近気のことについて、「自分の老後や身内等の介護等への不安」割合が最も高く、次いで「自分や家族の健康」割合が高くなっています、区民の健康への意識が高い。	p13,17	高齢期の健康相談や健康増進について、基本方針1内「心身の健康維持への支援」へ追記しました。介護予防の取組について、基本方針3内「地域での継続的な健康維持や介護予防」へ追記しました。
美原区に住み続けたいと思う人や、新たに住みたいと思う人を増やすという観点、「住みたいまち」という要素が必要である。	p15	基本方針2を「魅力的で訪れたくなる・住み続けたくなる」へ変更しました。
若者にも、美原区の農業や自然の豊かさなどの魅力を伝えていくことが大切である。また、こどもの頃から美原区の魅力を知ってもらい、本当に美原が好きな若い人が増えることが望ましい。	p15	若者を含む“みんな”で美原区の様々な魅力を広く共有することについて、基本方針2内「“みんな”が主役の魅力発信」へ追記しました。
だんじり等の地域イベントが充実しているが、情報を得るのが難しかったためもっと周知があれば良い。	p15	美原区で続く盆踊りやだんじり等の地域交流の促進について、基本方針2内「文化交流による地域活性化」へ追記しました。
住民が主体となり、地域の方々と共に創していくという意識をもった魅力づくりが大切である。	p17	“みんな”的つながりによる挑戦や“みんな”的主体的な地域課題解決を記載していました、基本方針3内「相互理解を深めチャレンジや自己実現を支え合える環境整備」及び「地域の持続的な発展を支える仕組みの創出」を引き継ぎます。